



日和山

新潟市立日和山小学校
学校便り 第106号
令和6年10月16日

10周年をしも町と共に

校長 諸橋 智

令和6年度後期が開始され、日和山小学校創立10周年記念式典も間近になりました。

前期には、10周年記念運動会、10周年記念遠足「しも町アドベンチャー」と計画的にピア・サポート（※）活動に取り組んできました。また、「しも町学」や「ハマベリング!!!」とのコラボレーションによる日和山浜大階段アートなど、子どもたちが楽しく取り組む様子が見られました。後期の創立10周年イベントもご期待ください。

記念式典は11月2日（土）に行われます。リーフレットや記念動画、記念の歌、記念樹植樹など、事業内容や構成については、実行委員長の高橋誠一様、副実行委員長の長嶋力也様はじめ地域・PTAのご意見もいただきながら準備してまいりました。

そして何よりも、式典に花を添えてくれるのが、しも町の誇る国民的歌手、校歌の作詞・作曲をしてくださった**小林幸子**さんです。地域の皆様のご尽力により、10年ぶりに来校いただくことが実現します。

保護者の皆様、そして地域の皆様にも小林幸子さんの歌声が届くよう、YouTubeでの配信を計画しています。学校のフロアやフレッシュ本町でも、パブリックビューイングを設ける予定です。

また、ご来賓として市教育委員会教育長をはじめとする地域やご関係の皆様にご案内したところ、40名を超える皆様からご出席を賜ることになりました。

さらに、同日に開催されるしも町の街づくりイベント「しもまち、しままち、湊町ボーダーの日」とコラボレーションをさせていただき、しも町を挙げての創立10周年をお祝いする会になることを心から喜んでいます。

さて、冒頭にお示しした創立10周年記念、初の試みの「しも町アドベンチャー」は、大成功に終わりました。子どもたちが「自分たちで考え、自分たちで決めて、自分たちでやり遂げる」行事としては今年を中心行事です。ゴールと同時に「やっと着いたー！」と、ピロティに倒れこむ子どもたちもいました。たくさんのプランを考えた子どもたちは、行く先々で鬼ごっこやゲームを楽しみ、全力投球で冒険をやり遂げたのです。私もそれぞれの場所へ写真撮影に回りました。車で移動したにもかかわらず歩数計は1万歩を超えました。子どもたちは、それをはるかに超える距離を歩いたに違いありません。

遠足の到着式で「来年は大人と一緒になくてもやれそうかな」と子どもたちに問いました。すると「無理です…」「危ないです…」というつぶやきが聞こえてきました。大人がいると頼ってしまうものです。大人も世話をしてしまいます。本当の冒険になるには、思い切り子どもたちに任せるダイナミックさが必要です。安全を確保するためには「手は放しても目は離さない」仕組みが必要です。保護者の皆様はもちろん、CSや育成協をはじめとした地域の皆様のお力添えの下、地域の皆様とともに創り上げる、子どもたちが心から楽しいと言える「しも町大冒険」を創り出したいと思います。

先日「学校の通知表」をお届けしました。その中で「学校生活が楽しい」という項目の肯定的評価は95.5%となりました。昨年度末の同項目は86.3%で、その変化に驚いています。地域やご家庭の底力によるものと感じます。この項目は、今年度の学校の重点課題ではありませんが、重要な項目の一つです。なぜならば、当校の教育ビジョンのテーマが「子どもが**楽しく学べる学校プラン**」だからです。「誰もが楽しいと感じる学校」であり続けるため一層の努力を重ねていきたいと思えます。

※「ピア」とは仲間を意味しています。「サポート」とは支援することを意味していますが、専門家によるサポートとは違い、仲間としてよりよくサポートする“仲間力”に基づいたものです。「支援」は「救護」(rescue)とは違い、自分でやり遂げることが目標で代わりにしてあげることではありません。仲間が相互に支え合い課題解決をする活動であり、安心・繋がり・絆を生み出し思いやりある学校風土を作り出します。(ピアサポート学会 HPより)

学校運営協議会 ～地域総がかりでの教育活動の推進～

今年度3年目を迎えた学校運営協議会制度。日和山小学校では、新潟柳都中学校の学校運営協議会と同一日・同一会場にて、年間4回開催しています。これにより、義務教育9年間における児童・生徒の教育について協議できるようにしています。

8月22日（木）の今年度第2回の学校運営協議会には、小中両校の職員が参加しました。6つのグループに分かれて、学校運営協議会委員の皆さんと一緒に、小中で一貫した教育を推進するための取組と手立てについてテーマごとに考え、話し合い、共有しました。今後も9年間を見通した効果的な学びについて、学校運営協議会でも検討を重ねていきたいと思えます。

協議会開催後には、担当よりCS通信が発行されます。「地域総がかり」の一員としてご自分の立場から何が支援できるのかの視点をもってご一読ください。ご協力、よろしくお願いいたします。



初の試み 大成功!! しも町アドベンチャー



今年の遠足は、「しも町アドベンチャー」でした。昨年度までの「全校遠足」とは、がらりと内容を変えての取組でした。「自分たちで考える」「自分たちで決める」「自分たちでやり遂げる」を合言葉にしも町学（総合的な学習や生活）で学習したことを生かして、校区内を探検しました。

しも町アドベンチャーに向けて、6年生が中心となり、コースや遊ぶ内容、取り組むミッションを決めました。それを基に、クローバー班のみんなが集まり、考えをめぐらせ、班の人の意見を調整しながら当日まで準備をしました。5年生は「時間を守るようにする。」3・4年生は「率先してあいさつをする。」1・2年生は「班のみんなのために、お守り&てるてる坊主を作る。」と、それぞれの役割も決めて一生懸命に準備に取り組みました。

全校の頑張りに応じてくれたかのように、当日は素晴らしい天候のもと、しも町アドベンチャーを実施することができました。ピア・サポートの精神で、班の人を励まして歩いたり、班の人と楽しく遊んだりできたようです。アドベンチャーを終えて戻ってきた子どもたちは、充実感や達成感にあふれた表情でした。初の試みの「しも町アドベンチャー」でしたが、全校の協力により大変有意義な活動となりました。保護者の皆様には、体調管理やお弁当の準備をしていただき、ありがとうございました。また、地域の皆様からもトイレの貸し出しや昼食場所の提供等、ご協力いただいたことに大変感謝します。来年度は、さらにパワーアップした活動となるようにより一層の連携を深めてまいります。どうぞご協力をお願いします。

